

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 二階堂 昌喜	
環境-28	実施事業	今泉クリーンセンター収集事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 環境センター
				関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

- ・大船・玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	177,243人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数	74,548人	事業の対象者数	74,402人	
運営資源状況	決算値(千円)	11,822	当初予算(千円)	16,889	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	11,822	一般財源	16,889	
	人員配置数	31.3	人員配置数	27.8	
事業経費運営	人件費(千円)	255,493	人件費(千円)	230,689	
	総事業費(千円)	267,315	総事業費(千円)	247,578	
	市民1人当りの経費(円)	1,508	市民1人当りの経費(円)	1,403	
	対象者1人当りの経費(円)	3,586	対象者1人当りの経費(円)	3,328	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 自治・町内会長及び廃棄物減量化等推進員
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容
	事業へ統合		
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	収集車両に係る経費と計量業務に従事する嘱託員の報酬が予算の大半を占めるが、現状の人員はもとより機材等の維持が必要である。また、計量業務についても、市民等のごみの持ち込み対応に欠かせない業務である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	ごみの収集事業は市民生活に密着した欠かせない事業であり、公衆衛生も含めた質の高いサービスや災害時等緊急を要する対応をするため安定した収集体制を整える必要がある。また収集作業・経路等に係る業務の効率性、クリーンステーション等の巡回及び住民との調整、ごみの出し方などの啓発活動を行うための技術・知識を継承するためにも一定数の直営職員の確保が必要である。		

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・退職者不補充、異動等による職員数減少、そのことによる作業体制の再編成。 ・「声かけふれあい収集」の利用世帯者数については、現状、横ばいであるが、今後増加傾向になった場合、人員体制も含めた対応が必要となってくる。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	収集業務の一部を民間業者に委託、作業編成(体制)の見直しを図った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	安定した市民サービスの継続、また、災害時等の緊急な対応も含めた一定数の直営職員の確保。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	他市とは、直営と民間委託の作業体制や収集による分別品目等の違いのほか、鎌倉市特有の地域制もあるため単純に比較するのは困難である。
---------------------------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		燃やすごみの年間収集量					単位	トン	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
ごみの減量化・資源化へのさらなる取り組みのため	目標値	7,700.0	7,700.0	7,887.0							
	実績値	9,742.7	8,060.6	8,074.5							
	達成率	73.5%	95.3%	97.6%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成27年4月より実施した家庭ごみ(燃やすごみ・燃えないごみ)の有料化によって、ごみ収集量の削減効果はあったが、引き続き指導・啓発活動によりごみの分別・資源化を図っていきます。	
------------------------------	---	--